

2019年6月26日
渋谷スクランブルスクエア株式会社

2019年11月、渋谷スクランブルスクエア第1期（東棟）15階に開業 「SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）」7月4日（木）から会員募集開始

コンセプトは「渋谷から世界へ問いかける、可能性の交差点」

スクランブル交差点を眼下にのぞむイベントスペース「SCRAMBLE HALL」の利用申込受付を開始

渋谷スクランブルスクエア株式会社は、2019年11月に開業する渋谷エリアで最も高い約230m・地上47階建ての大規模複合施設「渋谷スクランブルスクエア第1期（東棟）」15階に位置する会員制の産業交流施設「SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）」（以下、本施設）の会員募集を2019年7月4日（木）からオフィシャルWEBサイト（※）にて開始することを決定するとともに、同日7月4日（木）から本施設内イベントスペース「SCRAMBLE HALL（スクランブルホール）」の利用申込受付を開始することを発表します。



▲SHIBUYA QWS「SCRAMBLE HALL」イメージ



▲SHIBUYA QWS「PROJECT BASE」イメージ

本施設は、多様な人々が交差・交流し、社会価値につながる種を生み出す会員制の施設として、「渋谷から世界へ問いかける、可能性の交差点」をコンセプトに、2019年11月から営業を開始します。

主な特長として、コミュニティコンセプト「Scramble Society（スクランブル・ソサエティ）」、オリジナルプログラム「QWS Program（キューズプログラム）」の提供、共創と支援を促進する「多様でフレキシブルな空間」の3つがあります。

「Scramble Society」とは、渋谷ならではの多様な人々が年齢や専門領域を問わず集い、自発的・創発的に“問いの感性”を磨き合うことで可能性の種を生み出すコミュニティです。

また、「QWS Program」は、大学をはじめとするさまざまな領域のパートナーと連携し、価値創造を加速させる本施設のオリジナルプログラムです。参加者それぞれが持つ「問い」を掛け合わせることで、かつてない化学反応を次々と起こし、領域横断的な価値を生み出します。

15階のフロア全体を占める約2,600㎡の「多様でフレキシブルな空間」は、スクランブル交差点を眼下にのぞみ、200名規模のイベントが開催できる「SCRAMBLE HALL」、さまざまな活動が行われ、人々が行き交う空間「CROSS PARK（クロスパーク）」、交流や対話を促進する上質空間「SALON（サロン）」、新しい価値創造に取り組む場「PROJECT BASE（プロジェクトベース）」などの要素で構成され、共創と支援を促進します。

会員組織は3種類あり、個人もしくはグループで新しい価値創造に挑戦する「QWSメンバー」を中心に、法人会員「QWSコーポレートメンバー」、各分野で活躍しているリーディングプレイヤーなど本施設の価値に共感し支援するコミュニティ「QWS commons」で構成されます。それぞれの会員プランによって会員特典が異なり、プログラムやイベントへの優待、フロアの利用権限などが付与されます。

詳細は、別紙のとおりです。

※ オフィシャルWEBサイト（<https://shibuya-qws.com/>）

＜本件に関する報道関係者様からのお問合せ先＞
渋谷スクランブルスクエア PR 事務局（株式会社サニーサイドアップ内）
担当：小池、福井、前田、杉谷、岩崎
TEL：03-6894-3200 FAX：03-5413-3050
E-mail：scramble_square_pr@ssu.co.jp

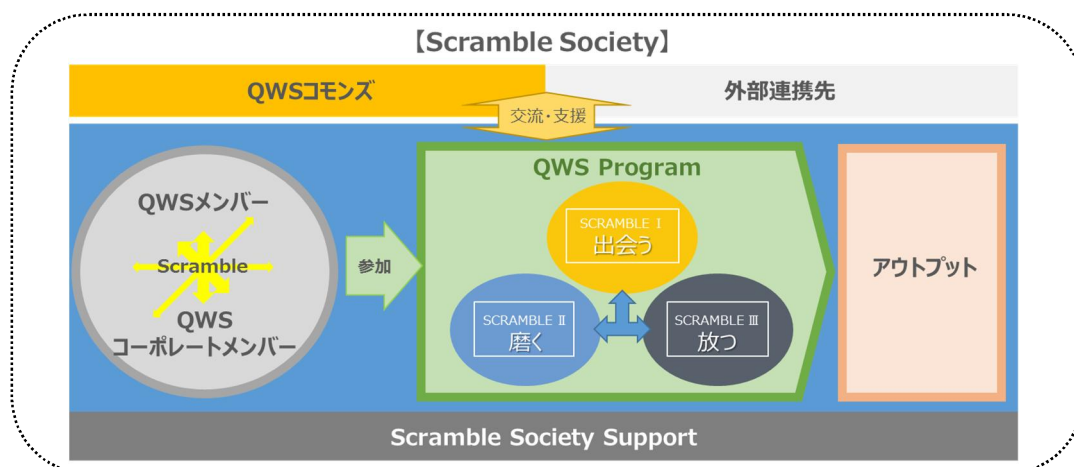
【別紙】

■ 「SHIBUYA QWS」 3 つの特長

① コミュニティコンセプト「Scramble Society (スクランブル・ソサエティ)」

SHIBUYA QWS は、年齢や専門領域を問わず、渋谷に集い活動するグループのための拠点です。

コミュニティコンセプトを「Scramble Society」とし、グループ間の交流や領域横断の取り組みから化学変化が生まれ、未来に向けた価値創造活動を加速させます。



※「Scramble Society Support (スクランブルソサエティサポート)」は、コミュニティマネージャーの常駐など、「Scramble Society」の活動を活性化させる SHIBUYA QWS の日常的な取り組み・サービスです

② オリジナルプログラム「QWS Program (キューズプログラム)」

「QWS Program」は、大学をはじめとするさまざまな領域のパートナーと連携し、価値創造を加速させる SHIBUYA QWS のオリジナルプログラムです。プログラムは、「出会う」「磨く」「放つ」の3つのフェーズに分けて提供を行い、参加者それぞれが持つ「問い」を掛け合わせることで、かつてない化学反応を次々と起こし、領域横断的な価値を生み出します。

<3つのフェーズ>

- Scramble I 「出会う」 ～未知の「問い」・感性に出会う～
- Scramble II 「磨く」 ～「問い」を磨き、プロジェクトを発展させる～
- Scramble III 「放つ」 ～「問い」から生まれた可能性を社会に放つ～

<プログラム例>

・QWS アカデミア

大学と連携した「問い」と出会うためのプログラムです。大学には多様な「問い」と向き合う研究者やプレイヤーがいます。「QWS アカデミア」は、単に知識が伝達される授業ではなく、双方向に刺激を与え合い、化学反応を生み出すことを目指します。

・QWS Cultivation Program (キューズカルティベーションプログラム)

ワークショップやイベント、アカデミックリサーチの支援などを通して、「問う」力や感性を耕すプログラムです。「問い」に惹きつけられた仲間たちと巡り会い、「問い」の可能性を社会へと広げていきます。

※オープントライアルを6月25日(火)より開始しています

詳しくはお申込みサイト (<https://qws-culpro-vol01.peatix.com/>) をご参照ください

・リ/クリエーション

いつものプロジェクトから一時視線を外して、「遊び」や「余白」から創造性を取り戻すプログラムです。アート・デザインの視点をプロジェクトに繋がめます。

・クエスチョンカンファレンス

多様なバックグラウンドの登壇者が集い、多様な「問い」を混ぜ合わせながら未来の可能性を探るトークカンファレンスです。

・スクランブルミーティング

会員限定の予約制ミーティングです。「Scramble Society」の多様なプロフェッショナルと1対1で話せる場を提供します。自分の中に生まれた「問い」を、他者と磨き合う機会として活用できます。

・アクセラレートステーション

プログラム提供組織や法人等と連携し、多様なプロジェクトが放たれるプラットフォームを担います。

※プログラムの名称・内容は変更になる可能性があります

③ 共創と支援を促進する「多様でフレキシブルな空間」

15階のフロア全体を占める約2,600㎡の空間は、スクランブル交差点を眼下にのぞみ、200名規模のイベントが開催できる「SCRAMBLE HALL (スクランブルホール)」、さまざまな活動が行われ、人々が行き交う空間「CROSS PARK (クロスパーク)」、交流や対話を促進する上質空間「SALON (サロン)」、新しい価値創造に取り組む場「PROJECT BASE (プロジェクトベース)」などの多様な要素で構成され、共創と支援を促進します。

SCRAMBLE HALL (スクランブルホール)



渋谷の象徴の1つであるスクランブル交差点を眼下にのぞむイベントスペース。3面のスクリーン、プロジェクター、音響設備を備え、セミナー・イベントなど、「問い」や人が混ざり、交流する場として機能します。

PROJECT BASE (プロジェクトベース)



可動式のテーブルとホワイトボードを備えた、個人やプロジェクトに合わせた活動を行うことのできる自由度の高い空間です。プロジェクトや個人が「問い」と向き合うことや、お互いの「問い」について議論する場として機能します。

SALON (サロン)



居心地の良い落ち着いた雰囲気のサロン。ゆったり座れるソファや個室を備えており、打ち合わせやクローズドな商談はもちろん、レストランとしても利用可能です。会員の交流や対話を促進し、新たな価値を生み出すことを目指します。

CROSS PARK (クロスパーク)



SHIBUYA QWSの中心に位置し、様々な活動が行われ、人々が行き交うオープンな空間。個人作業や打ち合わせの場として利用できるだけでなく、壁に映像を投影してワークショップやトークセッションの場としても活用できます。



■主な連携パートナー (順不同)

SHIBUYA QWSは、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、早稲田大学、東京都市大学をはじめ株式会社ロフトワーク、EDGEof、NPO法人 ETIC.、株式会社ミミクリデザイン、ドリフターズインターナショナル、株式会社東急エージェンシー、三浦法律事務所、フォースタートアップス株式会社など、領域を横断しさまざまなプレイヤーと連携していきます。(2019年6月現在)



■会員プラン

7月4日(木)から会員募集を開始します。会員組織は、個人もしくはグループで新しい価値創造に挑戦する「QWSメンバー」を中心に、法人会員「QWSコーポレートメンバー」、各分野で活躍しているリーディングプレイヤーなどSHIBUYA QWSの価値に共感し支援するコミュニティ「QWSコモンズ」の3種類で構成されます。それぞれの会員プランによって会員特典が異なり、プログラムやイベントへの優待、フロアの利用権限などが付与されます。

※金額は税別

※入会申込については7月4日(木)以降、オフィシャルWEBサイト (<https://shibuya-qws.com/>) をご参照ください

組織	会員区分	入会金	会費	概要
QWSメンバー	QWSメンバー	1万円/人	2.5万円/月/人	■利用可能施設：PROJECT BASE、CROSS PARK、SCRAMBLE HALL (※1) ■プログラム参加：優待あり (一部無料)
	QWSプロジェクトメンバー	1万円/人	1.5万円/月/人	■利用可能施設：PROJECT BASE、CROSS PARK、SCRAMBLE HALL (※1) ■プログラム参加：優待あり (一部無料) ※適用条件：3名以上であること (テーマ登録が必要)。
QWSコーポレートメンバー	QWSコーポレートメンバー	5万円/法人	100万円/年	■利用可能施設：PROJECT BASE、CROSS PARK、SCRAMBLE HALL (※1) ■プログラム参加：優待あり (一部無料) ■その他：1法人につき2名の個人IDを発行 (同伴者2名まで可)。 SCRAMBLE HALL優待あり。
QWSコモンズ	QWSコモンズ	(※2)	(※2)	■利用可能施設：SALON、PROJECT BASE、CROSS PARK、SCRAMBLE HALL (※1) ■プログラム参加：優待あり (一部無料) ■その他：同伴者3名まで可。SALON個室利用可。

※1 イベント使用時は除く

※2 詳しくはお問い合わせください

■イベントスペース「SCRAMBLE HALL」について

7月4日(木)から「SCRAMBLE HALL」の利用申込受付を開始します。

利用可能時間：

<午前・午後> 9：00～15：00 (6時間)

<午後・夜間> 16：00～22：00 (6時間)

<全日> 9：00～22：00 (13時間)

利用料金：

<午前・午後> 230,000円 (税抜)

<午後・夜間> 230,000円 (税抜)

<全日> 420,000円 (税抜)

※備品・人件費を含まず

面積：約200㎡

主な設備：200インチスクリーン (3面)、プロジェクター (3台)、音響設備、ライティングレールなど

予約期間：利用日の6カ月前の1日より申込受付

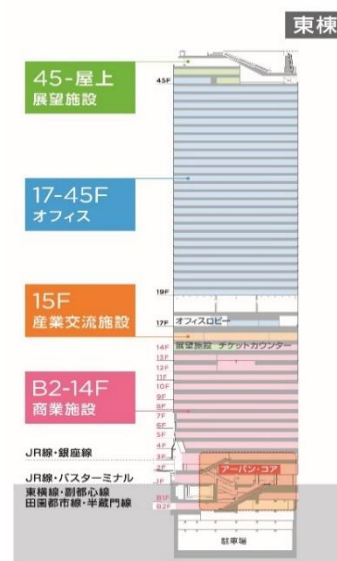
※詳しくは7月4日(木)以降、オフィシャルWEBサイト (<https://shibuya-qws.com/space/rental>) をご参照ください

<施設概要>

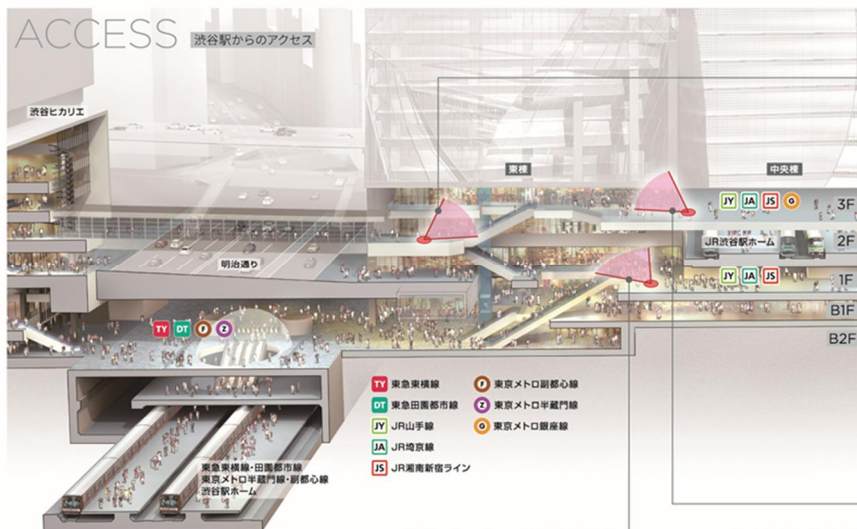
- 名称： 渋谷スクランブルスクエア/SHIBUYA SCRAMBLE SQUARE
- 事業主体： 東京急行電鉄(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)
- 所在： 東京都渋谷区渋谷2丁目24番12号
- 用途： 事務所、店舗、展望施設、駐車場など
- 延床面積： 第Ⅰ期(東棟)約181,000㎡、第Ⅱ期(中央棟・西棟)約96,000㎡
- 階数： 第Ⅰ期(東棟)地上47階 地下7階、
第Ⅱ期(中央棟)地上10階 地下2階、(西棟)地上13階 地下5階
- 高さ： 第Ⅰ期(東棟)約230m、第Ⅱ期(中央棟)約61m、(西棟)約76m
- 設計者： 渋谷駅周辺整備計画共同企業体
※(株)日建設計、(株)東急設計コンサルタント、(株)JR東日本建築設計、メトロ開発(株)
- 設計・建築： (株)日建設計、(株)隈研吾建築都市設計事務所、(有)SANAA事務所
- 運営会社： 渋谷スクランブルスクエア(株)
※東京急行電鉄(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)の3社共同出資
- 開業： 第Ⅰ期(東棟)2019年11月、第Ⅱ期(中央棟・西棟)2027年度
- URL： <https://www.shibuya-scramble-square.com>



▲渋谷スクランブルスクエア (宮益坂交差点方面よりのぞむ)



▲フロア構成図



▲1階アーバン・コアイメージ(北側より)



▲2階アーバン・コアイメージ (渋谷ヒカリエ連絡通路出入口より)



▲3階アーバン・コアイメージ(西側より)